(君 曜 木)

る は和會首都聯合協議會開 本聯合協議會は単に分會代 表のみならず政府其他各議 本ので代表を以て構成す 表のみならず政府其他各議 表のみならず政府其他各議 表のみならず政府其他各議 まのみならず政府其他各議 おいて表を以て構成す まのみならず政府其他各議

特殊會社並に各關係機關の を気といふものは言はずし を気といふものは言はずし を気といふものは言はずし を気といふものは言はずし を気といるをのは言はずし を気といるをのは言はずし を表との本作なり、君子は道 を法とのをである。

第一日于本部長

貢献

(-)

皇帝陛下

大連

御上陸

京協定に基く英租界 T萬磅の引渡しについては 「天津九日發國通」日英東

現地日英南總領事館當局に

日本側より武廉総領事、大日本側より武廉総領事、大

日英當局立

引渡完了

処理

まつさへわが海軍の作戦上 の必要に基く停船命令を無 の必要に基く停船命令を無

て交戦國の弾薬を輸送しあがわが軍占領地域内におい

英國船交戰國の彈藥輸送

わが海軍當局嚴重に抗議

要なる措置を阻害せるもの 要なる措置を阻害せるもの なので、わが海軍當局に酸重抗 めて英國海軍當局に酸重抗 なほ認京丸は目下激臭沖に なは認京丸は目下激臭沖に で同船の乗客は十日

黄浦江深く進航を續けたる

らず同船が敷回に亘る停船

とはわが方屋次の交職國軍しこれを容認し得ざるのみな本軍占領地域に持込んだこしるもので、わが方としては

防空砂嚢積上

事

往

るもので、わが方と縁の撤退物告の趣旨

命

た、午前九時五分朝雲は第一た、午前九時五分朝雲は第一次を監朝室に御移乗遊ばされた。

十日年前九時十分、六十萬 市民の熟誠盗れる率迎裡に 大連驛に御到着遊ばされた 皇帝陛下には熙宮内府大臣 以下宮廷關係諸員を隨へさ

輝く大連驛構内は清掃のあ

御先導にて驛貴賓室に入

第三ホームまで知

刋 3 印編 妥 胸條行 人人人

月 料護定本 金件價報 特警那一

水和十 ケケ 行月月 四四 五五五 十十 蘇蘇 藝円 毗

宅建築問題は和間民と協會▼こゝに於てか、住宅離教を重的養成を表明してゐる 談 市

任宅難の癌

宅離を救済するにはこれ以 等はいづれも實際に即した 別をで、現在の殺人的住 は、一方は、自實際に即した は、一方は、一方である▼是 りを が、市内空地に期間が が、市内空地に期間が が、市内空地に期間が

張つてゐる▼市民は今住難なる故、許可しないと ことは實際取締上出り、又特定の期限が も資材がないのだ、家を建

を言つて居れない程、問題 は急迫してゐるのである▼ 住宅問題の解決には先づ首 都警察の取締方針を時局に 即するやり改める必要があ である▼

の如き小住宅の規格統一普 (建設費の割高、多期石炭がの屋上に期限外バラック り首都警察廳は、保安(火がの屋上に期限外バラック り首都警察廳は、保安(火がの屋上に期限外バラック り首都警察廳は、保安(火

取締上に融通性なし

中央師道訓練

ら歸順

昌が同日午前十一時五分米 ある と室中輸送大陸飛行員譚世 には南京に到着したもの 関密中輸送大陸飛行員譚世 には南京に到着したもの

移動敵軍爆擊

「南支〇〇基地九 日 愛 國 「南支〇〇基地九 日 愛 國 前日に引續さ九日午前廣西前日に引續さ九日午前廣西前日に引續されたガソ とび附近に堆積されたガソ

爆撃を加へ多大の職果收むを西北方に移動する敵軍に

還りたまふ

佛の家華船 英海軍に拿捕 送上た情報によれば大西洋 変楽船として知られた四

版 太田憲兵隊特高課長、川村 正金支店長、英國側よりホッイト總領事以下關係者立 自渡しを行つた、引渡された現銀の處分については一 た現銀の處分については一 た現銀の處分については一 カてロンドンにおいて賣却 外に抑留されてゐる ・ 大変 、 大変 ・ 大変 電氣 池上洋行

れを見下

★小山貞智氏(協和會)十日來京ヤマトホテル 日來京ヤマトホテル 古順次郎氏(然河開新會 社取締役)同國都ホテル 和中信行氏(千代田生命) 同大都ホテル

來

接路ルートの問題、香港とはあるが…… ▲江口友清氏(海拉爾會社

目されればならぬ 佛軍復員 布告 『ダイシー九日姿國通』佛 政府は獨佛伊休職協定に基 政府は獨佛伊休職協定に基 ることとなり九日右に關す るたととなり九日右に關す 政治の神髓ことに 生活と國民意識の中から **協議會始まる、満州獨自の** 歐洲いかに動きつゝあり て、皇帝陛下けふ新京に 御訪日の盛儀めでたく終 その日く H より 的 一 四 雅 即 部次保津島 方 日 大 節 年 久 竹 監 督傳子子 主演

御退艦·大連御發 番バースにピタリ織づけとなり、同八分陸軍軍装奏も御票々しくより御退艦、港口に吹鳴するフォッグ・サイレンのうちを同九時、島醴砲股々と轟くうちを「皇帝陛下には御機嫌御鷹しく午前八の朝海上一常は細雨さへ交へた霧に閉されてめでたき乳白色のヴ順要港部より差廻しの水雷艇、雉、鳩に護られて沖合に假泊一夜収す。 奉迎慶祝の 御容麗 御上陸、御步を印せられた に御會釋を賜ひつゝ埠頭に でと吹奏する御訣別の喇叭 表変も御禀々しく御なつのうちを同九時五分朝原御麗しく午前八時三十 たき乳白色のヴェール 九日夜牛大連沖合に

へさせられ古川率天**鐵道局** 張侍從武官長等**扈從員を隨** 帝陛下には熙宮内府大臣、中がて午前九時廿五分 自

4まで御步を進ま | 移させられ率没者に御會釋導にて貴賓室より | 刻には畏くも歩を展望事にれ古川率天鐵道局 | 始御起立遊ばされ御發車時 股々たる皇禮砲と軍樂隊が 中十三分格列者全員最敬禮 神士三分格列者全員最敬禮 神士三分格列者全員最敬禮 神士三分格列者全員最敬禮 を車共に告川省廉務科長よ を車共に告川省廉務科長よ を車共に告川省廉務科長よ 奉天御通過

奉拜者感激 率送諸員に擧手の 一路國都新京

空か

には南京に到着したものでは南京に設するため翌十一日 領地域内の○○基地に無事 同日午後三時五十分わが占 號輸送機に搭乗して成都飛國製ビーチクラフト第一七 **着陸、愛機とともに空より**

重慶を脱出

す情炎を遮ぎるや

き理智の流れ

つの魂、灼きつく として離れ行く二 合へばこそ溶け合

への二人、觸れむ

愛しながら否愛し

主義をも是認せんとするも、招來すべくこれが和戦問題ならず日本の東亜モンロー、日派の勢力の急速な擡頭をソロー主義を承認するのみ、の感情濃厚の折桁親獨派知

りソ聯また悖むべからずと米派の威力はがた落ちとな に凋落傾向を示してゐる歐宣言の發表によりさなきだ らぬ有様である、さらに右

は全く策の施すところを知は全く策の施すところを知は全く策の施すところを知いてゐたがはにその狼狽振りてゐたがはにその狼狽振り

| 青華送申上げる中を車輪の | へ向はせられた | 一路関都 | きしりも輕やかに一路関都 主義是認川 のである從來米國政府によ

重慶

直に御召列車最後部展望

三十一分御召列車は再び皇

彼の御時にもい

夏空に轟き渡るや畏く

大統領の各大陸におけるモ

米のモン

U

折柄宋子文を派遣して對米主要外交工作に最終の努力を傾注してゐる軍慶側に一た御撃を興へた、即ち右宣言はヒトラー總統の大陸モンロー主義を承認するのみならず日本の東亜モンロー

車で
節関する
車で
節関する

あじあで離京大連經由 時國 泊十八日午後一時四十分發 帝國還伊観察圏小林一三、 帝國還伊観察圏小林一三、 帝國還伊観察圏小林一三、

長篇小説

作原

阿鄉

遣伊視察團

とみられてゐる

火管制で自然取止めとなる

仲介取扱ふ事になつてゐる

異色"サロメ"に人氣沸く

に關する實地研究會を閉たのもと 監機指導班負實験のもと なの日程により機關と石 を開始では日滿商

今夕大同公園

操のタ」を催すこととなつ一瀬京中の玉川學園生徒一行瀬京中の玉川學園生徒一行

まで陸軍病

皇山。商品祭

正確本位、

完結本位

電話③

==

六三

二五 五〇 滞りなく 破工したので

皆祭を執り行ふこと」なつ

へるが盛況を**豫想される** 部を終へ再び夜の部を迎 展示滿場拍手の嵐に**晝**の

關さ石炭 實地研究會

玉川學園

一日續ノ

十五、六日

奉告祭献

1毎回微苦笑劇を伴わ物とさへなつた裕

廻りのトップを承つて奉天 市加茂町奉天公會堂で抽籤 ・一四日は日曜のであ事になり 日に延びた第十六回彩票 の開運ので表をするほか

統管

下・盆ので

(日曜木)

日(十二日)日(十二日)日(十二日)日(十二日)

ソウ合訓練

したるも町會は町會にお

人は強め統監部に報告するれが防護訓練を實施するれが防護訓練を實施するれが防護訓練を實施する

公隊の防火救護訓練令間

ける統監の訓練査関個所および時に至る間實施すべき新京特別市準に不可調練統監部發表

閱·特別

第三回·首都聯合協議 き 日 H

劈國民精神强化に關する件を上提論戰の火蓋を切つ

何なる民族も植民地的な小満洲國に於て過去の如仕滿二十年の経験から鑑

と分會の實踐を强調して結び、次いで關屋副市長起ち 「この問題に對し一つの 注文がある」

精神の は極めて
和主愛の
おは極めて
和主愛の
おは極めて
和連な
、最近重要物資配給
、最近重要物資配給
、最近重要物資配給
、そこれであった。
であれたの
の場所を
、受町の
を変して
の場所を
、であった。
、である。
、である。
、である。
、である。
、である。
、である。
、で

#2 体験に應じたドイッ政府は 自國の職亂中にもかかはら 変を値を通じて寄贈し来つ を値ではこの珍しい貴重な文 献に大喜び、一册一册と目 を通すのに大童だが、杉村 を通すのに大童だが、杉村

三、入扎並に現品所在場所 満洲中央銀行席務課 三、品名、數量 当金級器(動力式) 章合 完シン器(足踏式) 章合 完シン器(足踏式) 章合 赞 機(手廻式) 章台 赞 機(手廻式) 章台 校 正 機(手廻式) 章台 校 正 機(手廻式) 章台 發 光線(手廻式) 章台 發 光線(手廻式) 章台 被 正 機(手廻式) 章台 被 正 機(手廻式) 章台 蒙 浩 機(手廻式) 章台 蒙 浩 機(手廻式) 章台 蒙 浩 機(手廻式) 章台 蒙 浩 大和保證金參百週同日特多のこと 本 新課配給係に出向のこと 康徳七年七月十日 中央銀行底務課配給係に出向のこと

傍聽席早 も市民で

實市民の宿題に早

場の挨拶を述べた後職長席 につく、劈頭議長は 「暑さの折柄、上衣をぬぎ打ちくつろいで懇談し

見せ傍聴席までぐつとくだ 見せ傍聴席までぐつとくだ



午前十一時再會、議案の審 護に入る、各代表上衣をぬ がな情景を描く中にも真剣 かな情景を描く中にも真剣 派る議場である、正面壇上 来賓席には謹厳な張司法部 大臣たぶ一人、協和服をき ちんと身につけて一言一句

確立に對する具現化を要望制を更に緊密にし指導理念制度の意圖の下に協の理念相質の意圖の下に協助負債

大亞細亜思想を削造確

科

ーソウ合訓練

し弟忌明に 電②三九〇三

1 亜細亜會館主尾崎忠氏は 異に實弟武夫氏を亡ひ、九 日その忌明にあたり故人追 善のため、貧民救濟費にで も充てム欲しいと同日金百 を本社に寄託したので新 原特別市公署内社會事業聯 市内東二條通り一一カフェ 義金寄附

京交響樂團(新京)皇帝 「大連)詩吟 本九・二〇 「大連)詩吟 本九・一〇 「大連)詩吟 本九・一〇 「東西」 一〇 「東西」 一〇 「東西」 一〇 「大連上 一〇 「東西」 一一 學字晚的故法



日町會=家庭防護訓練 附近=防毒教護訓練

日貨 於三中井百貨 於國防



土地家屋買いた いい人人 0 利 用機

京市中央通十三番地 洋 共益 所

不動產取引所

マートな籐家具各種モデルルームに配して陳列



獨逸か

ドイツ公使館を通じて山と出版物目鉄の客贈を依頼し 會にとどけられた、これは積まれた資料が滿日文化協 ヤの文献など ピヤ、ギリシャ等の美術、 (ド) イツは勿論、 麻雀同業組合

は世界中にもかかはらずよく、送つて異れたと感謝でしてますが、からいったですし協會では登しいもなる間にでも納めたいと思問ないと思いたいと思いると思います【寫をもつて響くあづかり博信としていると思います【寫をしていと思いると思います【寫をしていると思います】

総一色主曹木運之助氏から 同組合の第二十九圓献金七 日分の二十九圓三十錢の寄 代表市內老松町麻雀俱樂部 一廿九圓卅錢を本社寄託 たが、多数多觀を希望して

第廿九回献金

辰村組新京營業所 電話2 长〇六 電話2 七

電話(3) 三四五六番

一、必要書類 者住の身元引受書後一時より六時迄後一時より六時迄 五三 五六 番組

> 會葬御禮 管理人前田 義 和 職 城 一 同 蚁

三三名名

美女給さん大夢集

七月二十日迄 數十名 ・ 大田・ 東二條通十六〈平本洋行前〉

申申女子中東 京 京 崇 所間人 撲中茶屋

二、提出書類 七月十七日

品所在場所 満洲中央銀行席務課 見午後二時入札即時隔札

右希望者、木社教習係造事 一三、編切期日 新京交通株式會社教習係迄書類ヲ提出申込相成産

1.10 4.23 7.25

1.40 4.43 7.46

五日より十一日迄 料金九十錢

は

音樂

目分の意中を表明するためなかった。

彩も外聞もないといふのは お百度を踏むのであつた。 お百度を踏むのであつた。

吟鳴きへ内務省乘出



文部省音樂改善委員會はさきに發令されたレコードは 如何に扱ふべきかといぶ問題が橋本委員から提出され 種々検討の結果、浪花節は 音樂にあらずといぶ問題し、正式に選獎から除外 されることとなつた しかし昔から浪曲が持つ 満 微 満

国一回

「東京愛國通」内務省映畫 資施以來映畫の質的向上を 資施以來映畫の質的向上を 資施以來映畫の質的向上を 最近の映畫界の傾向には た以時間に迎合し以容性 た以時間に迎合し以容性 た以時間に迎合し以容性 た以時間に迎合しるが た以時間に迎合しるが た以時間に迎合しるが たりで何等の別のみを たりで何等の別のみを たりで付等の別のみを たりででも たりででも たりででする。 など種々指 ないので今回檢閱方針

を映畫檢閱とは別個にシナリ 育性などをそれぞれ積極的 に加味させこれ等の何れで 発製作を許可しないといふ 強硬な態度に出ることにな

とゝなり七日午前九時半新 京驛錣列車で大連へ向つた が富分の問同院で靜養の豫 定である 秋の外書 而超于 本 11.00 2 50 6.40 見玉好雄一行 11 40 3·30 7·53 支那の夜前篇 12·35 4·25 8·13

展子からQ 對へ宛てられた絶変狀―それには一本のた絶変狀―それには一本のた。受取り下さい、硫化縟な受取り下さい、硫化縟な受取り下さい、硫化縟な受取り下さい、硫化縟な受取り下さい、硫化縟な必要が換つて下さい、見方の額を擦つて下さい、見方の額を擦つて下さい、見 披露特別與行十四日豫定

H 12.00 2.45 5.31 8.15. なさ 鬼 あ さ み 12.65 3.40 6.25 9 10.15 10日より12日まで 料金50セン

舞踊公演會

十日晝•夜二回

該の巨篇! を誠忠! して果てる楠公の悲壯なに七生報國を誓つて自双に七生報國を誓つて自双 京



光と影前篇

光と影後篇

支那の夜後篇 1.53 5.43

三日より 階下一圓廿錢

國菊龍 子子代作郎郎介 定豫切封日四十

12.00 3.22 6.50

12 40 4.02 7.30 1.37 4 59 8.19 2.34 5 50 9.24

2.34 5 50 9.24 10.00

銀座本本マ

両甲③五 六〇五



黑加字 松毎 ?邊田島 島靜理浩 るは子實子兒載 浦 共



駐職義甲雲 大 友彩すの世八日 染女のの

乾卿真機店 中古ガララ売買 12.40 3.50 7.14 2.02 5.24 8.46 10.00 O EEE 八日より十一日迄 料金六十錢 秀子の應援國長春よいづこ 9日より11日まで 料金50セン 12日より 母の願ひ 元酸たんだら染 より十六日まで

子弟又の子いが旧高

12 00 5.13

12.40 3.50



若椿勢屬水 京春澄

アパートMに住むQ割は 所謂実男型で、ちよつとし た才士、若いサラリーマン としてはまづ申分のないター としてはまづ申分のないター に惚れられたことがなく、 幾度惚れても振られてばか りるた。 コント 娱夕祭刊 歴草の火を借りにゆく、一 煙草の火を借りにゆく、一 本の燐寸を口質に臆面もな く日に幾度も幾度もま子と く日に幾度も幾度もま子と が時に煙草の火に不自由を が時に煙草の火に不自由を するのは別に不思議とする ところではなかつたが、も ところではなかつたが、も ところではなかつたが、も ところではなかつたら であらうし、また彼の持つ てのるライターがちやんと 役目を果してくれた筈である。

は、今度の場合も彼の戀はは、今度の場合も彼の戀はは、今度の場合も彼の戀はは、今度の場合も彼の戀はは決して彼の戀をうけ入れたからではなかつた、生來の優しさから隣寸に照らされる彼の意中を憐れと思ったからであつたのだが、あいま彼のお百度はこの憐憫を得として既に餘りにも度を得として既に餘りにも度として既に除りにも度として既に除りにも度として既に終りにも度。

朝

0

空

厚生會舘 社員俱樂部

は、只だ恐れ入つ は、只だ恐れ入つ は、日だ恐れ入つ

しかじか……』と、報告を受けた時、 『不埓の浪人、召浦れ!』 とまで、一時は激昂した。 が、やがてまた考へ直して が、やがてまた考へ直して

と、よほど風向が違つ日の鳥居は、いつもの

なかつた。 鳥居は更に、

それだけでは濟

鳥居は、

噂が、チョイ ⟨ 関えて來 うにな。どうも、善くない て、弱い者虐めをしないや

頭が

思は以不首尾 でないにしまして、御前のお指欄を頂戴いたしたく を陰に推多いたしました。 でわしの指欄といふと?」 別の、底光のする鳥居の

居を、向ふに廻して、能くるを愛するよ。當時、この鳥の気骨が悪い。

西

世志 之

雨

每外經濟電服

(70)

商况

前十塲日

応診致します

藤本ミツ

產

婦人科

田島醫院

されが嘘だと思つたら率 陣十郎が、失敗したのも、 その墨句だから、いつも のやうに、好い顔をしない 巧く焚きつけるつもりの

に向つて、一にも上役、二 鳥居は、陣十郎に對して だんだん辛辣になつて來た でも、その浪人は、役人 頃、橋場の浪人組の世

否、さうで無い。その浪 人の露が、だん (押擴か

を失つては、芝居は打てな のいと云つて、世上の人気

品表验 やるといふ約束はしたが、 それは鳥居糧廠個人として 約束をしたのだ。南町率行 として約束をしたのでは無 は、はい!!

昨日、茂草奥山に於て、

公債株式は

(中央郵便局前)

新京中央通廿一番地

現物賣買 日滿鐘菊大

魯業紡鐘新 **公**元元元元子 | 英

東京株式短期) 衛付 大引 衛航 (40) 交叉 衛行 大引 (40) 交叉 (40) 五八 各姊株式市况



し縦さ舞き

「情むべきは、その没人でこざいますが、火の玉お漁こそは、それ以上、情むべき奴かと存じます。女のくせに、徒業を組み、お上の付成がも簡別して戴くこと先づお源を聞して戴くことが、根を断つて薬を枯らす手段では無からうかと、憚りながら愚考いたします」りながら愚考いたします。

出かけて来たのか、分らな 変を突いて蛇を出したわけ 変を突いて蛇を出したわけ

くなつ

丁郎、 其方とて同じ事だ。

▲外國為失 大學書 三赤七七仙智分 大學書 三赤七七仙智分 大學書 三赤四七仙 大學書 一志三片部分七 大學書 一志三片部分七

皮膚病良藥

は

は無いらしい。一度その男に、曾つて見たい位に思つ

は無いらしい。一度その男が、恐らく天下に、幾人あるであらう。どうも只者で

との言へる者

1111 111 1111

院長 田 院長 田

電空 二六の七

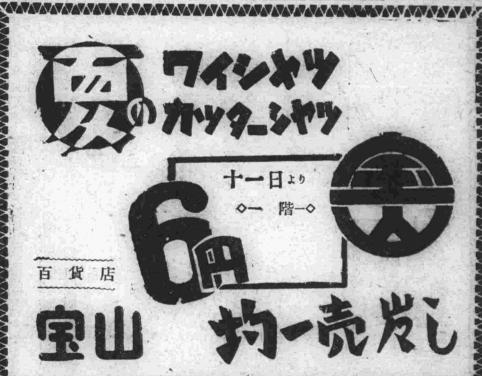
ツコスマの様皆 日 千葉 泰樹 山高 南旺映畫·東寶提 謙 太保 fr THE STATE STATE

邮

四通

でも深くがく用法能便にして早くヨクなる こも深くがく用法能便にして早くヨクなる こも深くがく用法能便にして早くヨクなる 萬一品切の節は 闘、五十銭、

會社組合設立五 法律顧問 及際 法律顧問 及際



念記船大竹松年百六千二元紀 畵映 日 分崎中 浦野 利弘絹 光通 水戶光子·三浦光子 子子信子代 一高田浩吉 川櫻野日 內倉原芙 封 滿昌敏英陽 美 子子子子子光彰純子 は 葉河齋藤奈高飯岡 隨 山村藤野良松田村 しき 院 正黎達秀眞榮蝶文 潾 葛羽出東忍若木森 水暮川 登八 實ま文貴重光節絹干さ 子子子子子子代み

均

(日曜木)

埋以下文武百官を始め扈大連港まで御出迎への張

あらせられたのである、帝 あらせられたのである、帝 かっこそ御恋なく帝宮に回響 今こそ御恋なく帝宮に回響 今こそ御恋なく帝宮に回響 のこそのである、帝

宮前廣場から御道筋内側を 理めた軍官民の敷知れぬ率 理めた軍官民の敷知れぬ率 源の淚にくれ、迎暉門の扉 が重々しく閉ざされた後ま でも幸迎者はなほその場を 立ち去りかね夕闇靜かには

ふ帝國外交方針と全く

紀元二千六百年御慶祝の なき御使命をになはせられ去月二十二日御出發以 來、約二十日間の御訪日 中日本皇室と御交驩をは じめ伊勢、橿原等皇國發 であずる。 がの聖地聖神を御巡拜あ

認

同一 クター クター クター イナー 円五十銭 鉄河 新聞社

出張所哈爾濱 滿洲興業證券

【頁二十刊夕朝紙本】 水和十 河 被 次 意

料廣定才金售價 特別 五錢 新京京樂町四 / 新京京樂町四 / 新京宗樂町四 / 新京宗樂町四 / 新

かった、かくて西口な 脚あげて唯々感涙の光 潤ほすのを覺えるばか

ならず常宮く蘭々回鑾あら せられたが、御容は神彩い や増して尊く誠に與坐曠古 の御盛事、日瀬附國併せて 一億四千萬の歓呼は此處に

く御歸滿あらせられたことは滿洲國四千萬民草の心情順に感風措く能はざるところである、しかして今回の御訪日は前回のそれと異り畏多くも東亞それと異り畏多らももら 深張せらるべき高邁なる 神的の方面からなほ更に 神的の方面からなほ更に が、精 洲帝國千年の指向を明ら まさに建國史的重大意義 を齎されたものである 段くも皇帝陛下には御旅日意義宣明 が、満州國政府では御時が、満州國政府では御時 が、畏くも今回の御訪り歩を國都に 印 せられた程御恙なく十日回鑒の御 なる親邦日本帝國肇國の淵源が悠久が、畏くも今回の御訪り となつた

民草喜

ニプラットホー・霊禮砲に迎へらら は圏喨たる新京軍 ならせらぬらせら

が最後部展望車の御召車 が最後の展望車の御召車 が最後ので随行官一名 近侍處長及び随行官一名

たほ當地消息筋の間では駐 たことおよびテレキーハン がリー首相、チャーキイ同 がリー首相、チャーキイ同

七月下

東洋の問題は東洋

の手で

3

ル大統領聲明

と解する旨次の如

病滅中のところ 選手により 連門來電によ

往

類報 (東京國通) 主義の解釋に關する重大監主義の解釋に關する重大監主義の解釋に關する重大監 め世界各方面關心の的となは著しく異なれる感あるた 從來のモンロー主義解釋と く語った

ルス統領の驚明は畢竟「東 ル大統領の驚明は畢竟「東 洋の問題は東洋の手で」と たいます。 を明のであるが、関いては、 でであるが、関いては、 でであるが、関いては、 でであるが、関いては、 でであるが、関いては、 でであるが、関いては、 でであるが、関いては、 でであるが、関いては、 でであるが、関いては、 のであるが、関いては、 のであるが、関いては、 のであるが、関いては、 のであるが、関いては、 のであるが、関いては、 のであるが、 のであるが。 のであるが、 のであるが、 のであるが、 のであるが。 のであるが、 のであるが。 のである。 のであるが。 のであるが。 のであるが。 のであるが。 のであるが。 のである。 のであるが。 のである。 のであるが。 ののであるが。 ののであるが。 ののであるが。 ののであるが。 ののであるが。 ののであるが。 ののである。 のので、 ののので、 のので、 のので、

も感激に燃ゆ

#明 もるをは東洋の一をは東洋のであるととは東洋のであるとをでから、これのであるとをを開始しては、大統領の重なが、大統領の重なが、大統領のでは、大統領のでは、大統領のである。といい、これのであるとをを関が、大陸のみって、大統領のであるとをを関いて、これのであるとをを関いて、これのであるとをを関いてあるとをを関いてあるとをを関いてあるとをを関いてあるとをを関いてあるとをを関いてあるとをを関いてあるとをを関いてあるとをを関いてあるとをを関いてあるとのであるととをを関いてあるとのであるとなる。 十月間は漢語は

作職、歐洲新秩序建設ならいて兩外相は英國撃破共同ところによれば右會談にお 州の運命を左右するもの附外相の曾談は今後の全 獨伊會談で左右せん 戦線視察中のチア 訂問題と關聯あり目 ルリン篩還を待

もので會談の主題は左の如職なき意見の交換を行つたびにバルカン問題に關し腹

はノーフォータ以南の東南 地に上陸を策することは困 難であらうとみてゐる。な

トフロイ提督は英海軍提出のフランス艦隊の武装解除に闘する條件を受諾したと

かないとう

小

型自動車部

目指すは英本土

で行は 「ブタベー テレキーハンガリー首相は 度 によれば一日平均七千名が一部 は大體六ヶ月以上の訓練を さらに動員は大規模に繼續 さらに動員は大規模に繼續 されついあり當局筋の競表

外相の テ洪首相訪獨下西部 豫想される

は 一 計獨中の折柄注目される はチアノ・イタリー外相がはチアノ・イタリー外相がはチアノ・イタリー外相が

拓林縣周邊爆擊

【○○基地十日愛國通】中 支艦は報道部十日子前十時 の村松部隊は七月上旬敷回 に亘り拓林縣(南昌東方廿 六師を求めて反復攻撃、密 集部隊に潰滅的銃爆撃を加 へたるほか敵司令部所在地 ならびに機點を爆撃甚大な、 る職果を收めたり キサンドリア軍港碇泊中の 國海軍當局は九日午後アレ 関連

のレ英酸

卸部 並 化附屬品直輸入

下鉄を開助した宣言を競し 政府は今後各種の全権を 自己の手に握らねばなら ぬ、また一切の社會的、 地方的乃至個人的活動は アランス全體の利益に從 属せねばならぬ と力設フランスの全體主義 と力設フランスの全體主義 式装解除受諾

運命は

9

関があるといはれても ・ 規兵の他に國防義勇軍の總 の他になほ百五十萬の防護 タン佛首相は九日・ 全體主義へ 佛首相闡明

で に日佛兩國總領事が會見を の に日佛兩國總領事が會見を の には現地において 武藤總領事とコーラン佛領 本との間に正式調印が行は

近く正式調印に大津十日愛國通」去る四日から開始された治安細目は十日の日佛原文對照によば十日の日佛原文對照によば十日の日佛原文對照による四十日の日佛原文對照による四十日の日神原文對照による四十日の日神原文對

日佛交涉

東京宮田製・堅牢實用車 7 自動車小賣 サ Ł 號自

名古屋岡本製・輕くて丈夫な 優美·輕快·紳士乘用車 リツ號自轉

土工運搬用リヤカー 自 轉

ーレーハ・一カドイサ 通學用自轉車は特に勉强致します 4 集募員交外 クツラト型箱ンサトツタ 牛 品 古 人地內本日但 子子 ブ 供供 自 號 ン號自動自轉 動輪 自 車車 動三輪 入荷 3 島通二四 大三 五〇 車

和心 とぜらるる側陸下に率公の誠を效し盟邦 の協誼に願ふる所以であり

ふまでもないが、雁門闕よ 事的重懸は八達嶺よりする 北京のそれであることは云 まりまる り に對する政治 も軽視出来ない、居庸雁門 は漢的コース

虚 蘆

し此の二瞬門をして蒙古想 しめねばならぬ、實に長城 による北支との境界線設定 は北支をして一種の政治的 安全感を保たしめるために 必要なもので、之に據つて 蒙古が節度さるべき筈のも

等に改修するとしても 総となり而かも現在にては ある、而かも現在にては ある、而かも現在にては が簡を以て完全に交通社 の場所さへもない隘路で おの危險にして貧弱なる となり而かも現在にては が高でありれたる がある、一小地方でしかあ

物語つてゐるものにして普 物語つてゐるものにして普 を現在の蒙古政権は遙か

蒙古に向けられてゐたが、 場山により反對に山西より 野よりの政治經濟指導は問 下の重大闘門であり近年雁

然るに八達嶺たるや一

氣制をしに6分量、 鐵限質或蒙5ノは從 道せ現は古、一恐つ

ある、斯くの如きは従来 て断絶に近い結果となっ は勿論經濟的にも 太原の二地を蒙古 唯一の

四分ノ 要することと

ぞ次に來る

B

0

が國際關係の複に期待出來ず、

離にあらざるを發見する

にあらざるを發見するで と比較すると

ては大同炭及龍煙鐵鋼の輸 であらう、八達領は現状に であらう、八達領は現状に

を持つ蒙古政権は動力線たとになる、斯くて重要使命

● 一小地方でしかないこの輸送力唯一つにてこと足 通鐵道の三分ノーにも足ら

難なる天津港に

でしかも一方、香港 との拒絶の理由が、 をのでしかなかつた ものでしかなかつた ものでもかなかった。 とだ不徹

英國人自身と雖も、さら と 英國人自身と雖も、 さら であるとは誰も信 ところであらら

ある。だがその「支配」 ちも知つてゐるところで ちも知つてゐるところで

の日

か異へなかつなかあるとのできない。英國はつひがもそのできない。大の関係を興いたがあるのできない。

等に於いては、何を慌て を現出してゐるのである から、益す以て不可解な がら、益す以て不可解な ある。

酸はこの事

られる を見たので近く適當の嫌い合理化確保のためを 最い合理化確保のためを 最が高利と生産指導会 意向であるが、その結果 を簡ずものと目

ス }

化續

1111

北端に在り、漆の

(日 曜 木)

英支國境

境線を衝

英支國境線を進む皇軍部(上)ユニオンジャック

除(下)

避難民英支國

の三段構への工作方針を樹との巡回懇談會の開

愛勞精神作與巡回班の

市年度以来統領された農産 出廻りに多大の反響を喚び 起し之が再検討再强化論が 達頭し、米穀をはじめ大豆 主要糧穀等の收貨收買配給 機構に對して種々論議され である折柄、端鏡期を控へ

七て蒙古諸部の建筑、康熙帝の六十の後方

一一性宮を養るして表る、 一方にきため見菜がせず森に周まり、 一方に寺域を検索の飲養の 東北北 原煕五十二年聖組六十年 東北北 の 萬壽を奉祀して荒蹊の 一方に寺域を検触して荒蹊の 一方に寺域を検証して荒蹊の 一方に寺域を検証して荒蹊の 一方に寺域を検証して荒蹊の 一方に寺域を検証して荒蹊の 一方に寺域を検証して荒蹊の 一方に寺域を検証して荒蹊の 一方に寺域を検証して荒蹊の 一方に寺域を検証のである。 一方に神域が表す。 一方のである。 一方の経壇が黄石 上に在り、古 一方の経壇が黄石 上に在り、古 一方の経壇が黄石 上に在り、古 一方の経壇が黄石 上に在り、古 一方の経壇が黄石 上に在り、古 一方の経壇が黄石 上に在り、古 一方のである。 一方の経域が表る、 一方のである。 一方の経域が表る、 一方のである。 一方の経域が表る、 一方のである。 一方のである。 一方の経域が表る、 一方の中心には 一方のである。 一方の中心には 一方のである。 一方の中心には 一方のである。 一方のである。 一方のである。 一方のである。 一方のである。 一方の中心には 一方のである。 一方のである。 一方のである。 一方のである。 一方のである。 一方の中心には 一方のである。 一方のである。 一方のである。 一方のでは 一方のである。 一方のである。 一方のでは 一方ので 一方のでは 一方のでは 一方のでは 一方のでは 一方のでは 一方のでは 一方のでは 一方のでは 一方ので 一方のでは 一方のでは 一方のでは 一方のでは 一方ので 一方のでは 一方ので 一方の

乾隆二十三年準噶爾部平定 するや翌年清軍に降伏せる 達什達瓦部衆をこの山下に 遷居せしめたが乾隆帝はこ の達什達瓦の妻女外敷千人 を慰安するため、その信率 する伊犁の固爾札廟式に做 ひ建立したものである 、この寺の來歷を考ふにたる三層樓が屹立してゐたる三層樓が屹立してゐた。 にて第がのの大部五と三餘後界殿に門を勅廟た多下本大られる。 過そ三、 と三餘後界をした記書を高い、 過きの関する。 過ぎの関連という。 でののをは、一般には、 ののをは、 ののをは、 ののでは、 か四列之間 T 輸大左る完寺廖建計や拉十二十 、大の閣に尺級法王右山威を耶て後曾特月十る

後方には琉璃製の華麗な六は敷喜佛を安置してゐる、 な六 場所には六方亭及び八方亭が あり、中殿とゝもに鉄金の あり、中殿とゝもに鉄金の が石階を以て通じ更に最高 で石階を以て通じ更に最高さ三百 と題するが紅癬は高さ三百 と題するが和綱ととして 変曲折して都綱殿には高さ三百 と題するが観光として が石階を以て通じ更に最高 で石階を以て通じ更に最高 で石階を以て通じ更に最高



ず専門店

電③

運動臭と服装の店

骨の病 既製品洋服類雜貨 則三丁目 ななまたニューを要集る古典1五1でを受品各種 オーバ 背廣服 ズボン 野山 作業服 関限各種製品各種 オーバ 背廣服 ズボン割・ジャ 吹出ものはいコユース

产 學安大路 與安己儿

本院(青陽上三階)電路全人

の の出廻りが活謗になつて来が、 ころで、今後の統制方針にか ころで、今後の統制方針にか ころで、今後の統制方針にか ころで、今後の統制方針にか ころで、今後の統制方針に か ては當局も多大の注意を拂

大意であるが、この傾向を 生むに至つた原因は勿論政 時の出荷促進工作、或ひは 雨期に入り手持ちの解放等 もあるがこれをソウ合する に大體左の諸點にあるもの と見られ今後の成行は頗る

大連株式(短期) 商况待場 各地将式市次

回を素安=大連埠頭間に夫々一車 (三十トン) 宛實施することとれなつた、この試験輸送は雨經路とも三ヶ月間連續して行ひ、輸送途中における大豆の減量、品質の變化等を詳細に調査して将來の本格的實施に備へる筈である

ついて政府は近く土建等働 保護法を制定して萬金を期 情統制法の遵守方について 勝続制法の遵守方について 等働者使用者側に對して禁 等して禁

始し安東、奉天の兩省を終班は旣に四月より行動を閉

爾の四地區を選定使用者と 選談曹を開催の為近く先づ 選者の監理方法、待遇、福 地、各地區における勞務監 地、各地區における勞務監

民勤勞精神作興運動とも結野請しつゝあるが、更に國際の謝正、秩序維持方を

保について協和會と連繫

敏速無料で配達します 興安大路五三六

中西果實店

メガネ専門

走 精 華 眼鏡

電③四三三四番

販賣所

・ T理事等 ・ Can English によった。 ・ Can English によった。 ・ Can English を引った。 ・ Can English を引った。

アマルヤス帽子店 製造·販賣

電③六五三

最新のスタイル 長春洋服店

一十月七(年五十和昭)年七德景

を施しつつあるため興農合作社中央會に依る資金の供作社中央會に依る資金の供格統制は圓滑なる運營を示脈的役割を順調に遂行する脈的役割を順調に遂行する。 中央會による營農資助な中央會による營農資助な中央會による 電流の強力な動 で表表の強力な動 で表示の強力な動

協和會ピ

國内勞働力確保に

會社融通耕作資金の集中その他具農、商工兩合作社餘 裕金の利用等により資金供 裕金の利用等により資金供 粉金の利用等により資金供 整膜を抑制し換物或は投機 膨脹を抑制し換物或は投機 には特に積極的努力が拂は には特に積極的努力が拂は

方針に基く國策事業に振った。

である、政府言局に於てもからる。政府言局に於てもが、今回の金融引締め政策が、今回の金融引締め政策が、今回の金融引締め政策が、今回の金融引締め政策が、今回の金融引締め政策を以て臨み不要不急資力と、政策を以て臨み不要不急資力と重点、対の資金化については積極的援助斡旋を與へる方針で重点、不要不急資力と重点、対の資金化については積極がある。

大星の酒藏にて 上方大名料理 立喰の山田 御存知の

関係方面からその成績を注 目されてゐる漸纖の大豆バラ積輸送はこれが使用に宛 てられる有蓋鋼鐵貨車のド て改造のため實施が遅れて なたが愈よ來る十五日第一

南支特產

海陸物產直輸出入商

A 東亞物產洋行

カバン専門店

da

雷のたけがた番

支店 大連、上海、天津、台灣 新京電話(2)一九八八番

0

書店ニアリマス

影加藤的器店

電白四八三八、六五八三郡

世帯道具の店

可及的に併立せしめ、愛勢 精神作與巡回工作班の活動 を一層 易揚せしめんとする ものである、従來 東角國外 勢働力に依存した結果國內 勝働力に依存した結果國內 である。 後來 東角國外 のなとする協和會の此の とする協和會の此の はあんとする協和會の此の はあんとする協和會の此の はか集中されてゐる D'ART' EPO

手形交換高 十日〉

漫画と

コニゴ學校

試験輸送

蛤姫と

鼠の嫁入

1 | 空机公司

モクポ























ヤメ英1改

大港したので再び世人 を驚かしてゐる 五月廿六日二隻の英 図巡洋艦に守られた堂 堂たる船隊がケーブタ ウンに入港した、この

英巡洋艦二隻とであり何れも二萬トン以上の 需薬船ばかり、而もこ 豪薬船ばかり、而もこ の船にはオー気トラリ アニュージーランドの 兵職合せて二萬六千が 乗り込んでゐた。これ らの兵職が何れの職線 に向けられるか、兩國

は仕様をして了ふといふ原 は仕様をして了ふといふ原 とのないやう。そして敵場 とのないやう。そして敵場 とのないやう。そして敵場 を保つて些かも暫局より非

急性慢性淋

食品で、野菜類は一般にア く含んだものはアルカリ性 く含んだものはアルカリ性

雷、扁桃腺炎、中 耳 炎

疗、化膿性外傷 疾、膀胱炎

適應症

で用意の

と血液が残性となり、いろの病氣が起つて来ますもともと血液を中性でなければならぬので、酸性にないた必要なのが、アルカリ性に必要なのが、アルカリ性

0)

であります 今次の歐洲酸争に於てドイッ空軍がパリを襲撃するに 割り

又除り度々出たり入った いけないでせら、過度 はいけないでせら、過度 はいけないでせら、過度 に疲勞してある時、流度 でも全後 はいけないでせら、過度

×…夏になると消化不良症が多くなつて来ますが、この病氣の原因は未だはつきりしてゐないので治療法も智者によつて異つてゐると

汽車が走るために燃料を必 の活動に鷹じて食物を横る できで、多過ぎても、また

でたる日必度

今日から

防衛訓練

に任務

性とがありますがこれは食 品の中に含まれてゐる無機 質によつて定まるもので燐 や硫黄を多く含んだものは

食物には酸性とアルカリ

殿で明である。

文献抄錄集邀呈一

ることは多數専門家の質

酸性食品?

年來の慢性症にも良く奏効って急性症狀は勿論、一數

は

です、時間は初めは十分位がから漸次延ばして州分位がある富ですが、それも子供なら年齢や漢育状態に依り加度して、時間は初めは十分位に應じて時間の長過ぎぬやに應じて時間の長過ぎぬやに

それには例へば塵埃箱や厨 芥類の盗を嚴重にし便所の ツボの中を暗くし時々晒し の類を水に混ぜて注ぐかし

たいます。 大に入るにはまづ第一にはなりません、次に入る間に準備體操をする間に準備體操をすれた。 では、1000年の一般です、例へは軽いです、例へは軽いです。例へは軽いです。 では、1000年の所環をよく では、1000年の所環をよく では、1000年の所環をより では、1000年の所属を では、1000年の で

を

3

6

V

其

の繁殖

×……何よりも騙除が必 要ですが、蠅の繁殖力は絶 ありません、それには壺卵 ありません、それには壺卵 ありません、それには壺卵

エンザ菌、肺炎菌、脳膜炎に限らず化膿菌、インフル

される所以である。

菌、大腸菌其他の細菌性疾

恵に對し

的の速動を現はする

多いわけです

と なく治療期間を著した く短縮し得るので經濟的であることが治療の真の使命を ることが治療の真の使命

水泳後は身體を清水で結膜炎を起し易いので清水で結膜を傾けて輕く飛んで結膜炎を起し易いので清水、頭で洗眼し、耳の中の水は二パーセントの硼酸水で結膜炎で流いた。

トレい時期とたりました、新京各學校及び市営ブールも 京各學校及び市営ブールも ることでせらが、水に入る とでせらが、水に入る

| 「空」を起しさらな時で、次ではその脚の負擔を軽くする。 ではその脚の負擔を軽くする でいたに沈み局所をもみ闘かに水に沈み局所をもみ闘かに水に沈み局所をもみ闘

は行の直後も避ければなかまで、シャワーの設備の血管が一時に収縮して行くでは泳ぐ前に必あるところでは泳ぐ前に必あるところでは泳ぐ前に必あるところでは泳ぐ前に必あるところでは泳ぐ前に必あるところでは泳ぐ前に必あるところでは泳ぐ前に必あるところでは泳ぐ前に必あるところでは泳ぐ前に必あるところでは泳ぐ前に必あるところでは泳ぐ前に必あるところでは泳ぐ前に必あるところでは泳ぐ前に必あるところでは泳ぐ前に必あるところでは泳ぐ前に必なりません。

が割 "

サラビア、ブコヴィ

醫療器

店齒科

羅田齒科醫院

へ殆ど變らぬ程度にぬります、この水色の白粉を筆です。この水色の白粉を筆です。この水色の白粉を筆でて適當にお使ひ下さいそして適當にお使ひ下さいそし

を呼ぶか、或は直ちに水よー 村中商會新京支店內新京特別市農樂路一四〇號 要です

手洗 ひ馬 の作用をあらはしますって便所に投込んで置って便所に投込んで置った仙薬にもまさる無料で有効な臭氣止 0 臭氣止 め 鹽、胡椒を少々振かけてを 種の所を匙でえぐり取つて をころを五分ほど切落し花 落ちをそいで縦二つに割り 落ちをそいで縦二つに割り

頰 も水 v P なら ゥ 8

×O

× × 家

が飛び込む前

の御注

意を

小をあげ

食パンはあまり新しくないものを選びまはりの焼いものを選びまはりの焼に切って水に浸し、被かに切って水に浸し、被かになったら固く絞ってバラバラにほぐしておきます、玉葱の半分量、玉勺、水水、玉葱の半分量、玉子は割ってよくときほぐします、井に挽肉を入れが、玉葱の半分量、玉子

のカッレ・

かけるだに、次に関ってより、 大パン粉にまぶし、次に関ってより、 大パン粉にまぶします、鍋に大パン粉にまぶします。 一はくした卵に浸して更に大パン粉にまぶします。 一は過ぎると味が悪くなります。 がりますパナナはあまり揚いかけ、揚がりましたらあたたかが、場がりましたらあたたかが、ましたらあたたかが、まかりましたらあたたかが、場がりましたらあたたかが、場がりましたらあたたかが、場がりましたらあたたが悪くなりました。 アルコールは胃や腸の壁に 障害を起し障害を起した組 機が或る種の物質を分泌し 、血液中に移行しそれが 肝臓その他のヴイタミン胎 遊離させるらしい、ヴイタ ミンが特に感冒やインフル ミンが特に感冒やインフル

懸念も要しない。テラボー

ルの特に優れてゐる點は

が確實と云ふだけで

點で確信があり、副作用のルを選用されるから効力の

研家は正しい認識に

よつて常にテラボー

占くて信用ある店

お茶菓子の代用に珍しい 大きなバナナ和理を御紹介しま 大きなバナナ五本、卵一 人前として新しい 大きなバナナ五本、卵一 と二杯、バン粉、メリケン粉、油適宜、バニラエ ツギンス茶、匙半杯、ド栗 が茶匙一杯、砂糖大匙五 が大きなが、メリケンが、メリケンが、大型型・バーラエ が大きなが、カラエ

このスープは元来病人向きなバラバラと浮べますと洒 をバラバラと浮べますと洒 をバラバラと浮べますと洒 をボラバラと浮べますと洒 をがったもの をがったもの をがったもの をがったもの をがったもの をがったもの をがったもの

ほうれん草の

■ 玉子 酒の 風邪氣味の時、强い酒を飲むと治るとい ふことは、 むと治るとい ふことは、 一般の常識 さなつて ゐる やうであるが、最近米國ロ チモスター大學の先生方の 報告によると、これは科學 的に根據があるやうである ヴィタミンAが一般感染性 の病氣に對する抵抗力を高 めることは疑のないことで あるが、右の先生方の研究 はブルコールを飲むとヴィ タミンAが、體内における た、犬を用ひて實驗したと た、犬を用ひて實驗したと

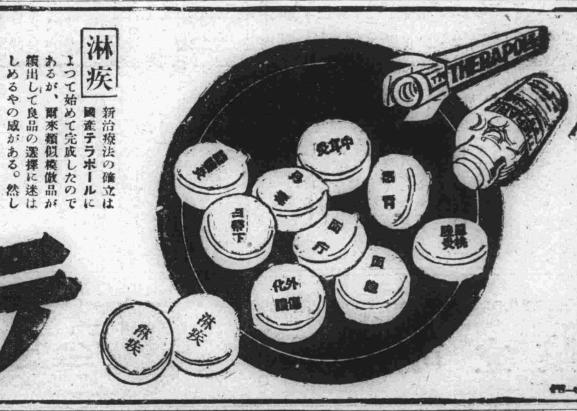
なつてゐる、もし特效があるとすれば玉子酒を飲んで るとすれば玉子酒を飲んで 既るなどは、最良の風邪後 既るなどは、最良の風邪後 疾患に對すると同様な效果 の科學的根據|

風邪ピア ルコール

・ソースかけ ・ソースかけ ・ソースかけ た所を水氣を拭きと ってその中へ詰めます、 この肉の方を上に向けよ く陽氣の通つた蒸籠か蒸 器に並べて二十分間ほど 器に並べて二十分間ほど スト

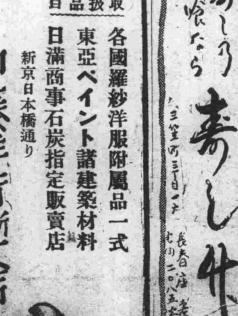
ス・

ま 濃さにといて刷毛塗りなさで るのです。この場合水白粉の がきらひならば、粉白粉の し 同様に凉しい感じに美しく

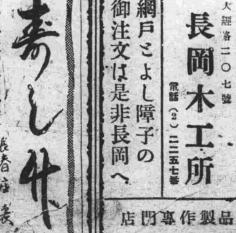


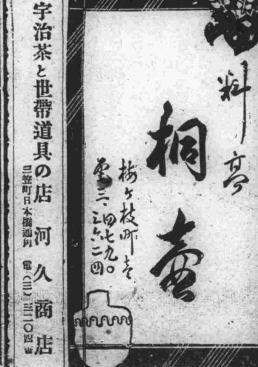
高低壓配電盤 內外線工事用器具 通信用材料器具 通島/ 一点新

目品扱取 **東亞ペイント諸建築材料** 加藤洋行競玄店 新京日本橋通り 話













第二交 が如く我が希望もかれはて第二交 が如く我が希望もかれはて を表質完 た、此の地へ來で變りもな の五月 く自分は去る美しき夏の日 郊外の に我を鼓舞せし毅然たる勇 トで送 氣さへも今は消えらせた」 トで送 氣さへも今は消えらせた」 しかも彼はひどい失戀のた のである、もうだめだ、自

た、〇〇(新京)建國體操 た、二〇(東京) ニュース た、三〇(新京)建國體操 た、五九(東京)時報 (新京)天氣雞報 (新京)天氣雞報

大、〇〇(東京)子供の時間 國史劇「七生報國」 北條秀司作 吉原鍛雄・ 北條秀司作 吉原鍛雄・ 大、二〇(東京)コドモの 新聞 大、二五(牡丹江)趣味識 (予) 海國と我國との女 演「渤海國と我國との女

でアンドニナー 赤松秀 柳本元吉 八大連)図。 大連)図。 大連)図。

底謝する、特にリヒーヴス で選書に『凡ての友に私は で表キー公に捧げられてゐ

失戀・耳疾に自殺を覺悟し

ヴェ

な希望に胸まされを強計な 育熟に支配された 強壯な青 年的作品である、作曲に 没 頭する時の彼は完全に外界 の煩瑣から強脱して内心の のである、特記さるべき事 は此の曲がカアル・リヒー

なる作品である、つづいて 大輩に最後の敬意を表して 生輩に最後の敬意を表して

「易教を讀んで」(二) 日名靜一 他、バリー音樂院管絃樂「交響曲アンタール第二番」 リムスキーコルサコフ作 リムスキーコルサコフ作

一、三五(東京)時報一、四〇(東京)經濟市

間(日満南語)間(日満南語)間(日満南語)

大、三〇(新京)歌謡曲 一、誰か故郷を思はざる 一、誰か故郷を思はざる 一、誰か故郷を思はざる 一、誰か故郷を思はざる 一、誰か故郷を思はざる 一、こ〇(李大、滿洲音樂 一〇(大連)長唄 連 一下に治郎通獅子」 一下に治郎通獅子」

日も汗み

マ……金融納を目ざしてらだる様な暑熟の中を懸命に稽古を續ける綺麗ところのそ……行されてゐる、在京軍醫尉問と國防費並海拉爾忠靈塔建設基……今新京カフェー組合主催本証後後の「カフェー演響大會」は公演期日が迫ると共に國都……本新京カフェー組合主催本証後後の「カフェー演響大會」は公演期日が迫ると共に國都……本

ー演藝大會

が父が鶴て洋ぢん」

此の人はなかなかのイン をして書物に親しんである として書物に親しんである として書物に親しんである はこではながなかのイン はこでは、而も はこでは、である、林美美 はこではなだってるた時 はこではなだってるたち はこではなだってるたち はこでは、本でも になったらう

化

映

畫

女給さん

(日 曜 木)

大い で額田六編作の 「小棍丸」が初まる、之は 原に起つた戀の物語である 小棍と言ふオイランに惚れ

遊女小棍に扮する宮古クン は遊女に打つてつけと思は れる仇つぼさで芝居も達者 である、すみれ君の男装は これまた期待の的であるが どうしたものか膝がかすれ て出ない、演出の鼠崎氏 「きみ離が出ないネ、昨 夜お酒を飲んだな」と言

が應接に出た

てゐるあたり良くも藝達者か が揃つたものである、しみ い 気を偲ばせて先づ之は異色 ばなれした 関熱の 夢を見せ するる

こと他の女給さんま 言ふなら知づてるけ を を の横ば

(四)

ものなぞはい

の父上、母標は クな浄瑠璃芝居竹 「玉藻前三段目道

はれる程の富も名も命も何がま」ならぬは浮世の常、だっならぬは浮世の常、だっての職なや小棍さんにはれてら お局小梶とその男との総 のまことに負けた友右衛 でまことを数へて先つ絶徴 なと言ふ血を吐く様な切 切たる戀の物語り、戀の まことを数へて先つ絶徴

大船のお盆大作野村浩 ド監督の「愛の暴風」 には同監督を育ての親 とする営での則太者ト

オテルのボーイ(三井秀男、磯野秋雄、 一切さん(山雲八重 がでん(山雲八重 がでん(山雲八重 がでん(山雲八重

歐洲戦の影響

山田長政』の

オ其他が左の如く追

でかしと感に耐へたもので女の生理にてありつるもの である。さらか、良し、 しし」。さらか、良し、 と尾崎氏がなにか解つた 様な顔をした。 一愛子クン

も暑い上に なしばた」きた ゐた年增の女給 ラ をしし目で見て

重しを食つて『だつて本富 直しを食つて『だつて本富 の』と笑つた、斯うして尚 の」と笑つた、斯うして尚

井上正夫映畫

機占しながら愈よ公演の日
しながら愈よ公演の日 は間近になって行く

勢は移るのクライマックス 中の 女給 さん達、上より

名 物

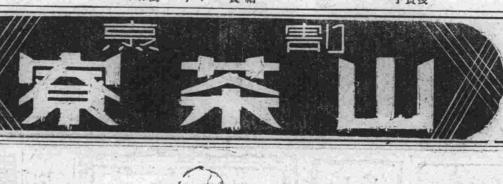
つほさ

個作にてトーキーにふさは ・ 対事なつた な、脚本は調査研究の結果 ・ 決定、伏見暴か脚本を書卸 ・ 大船で主演映畫を製作する ・ にオリデナル脚本を使用と ・ 大船で主演映畫を製作する ・ にオリデナル脚本を使用と

伏見晁が執筆

與太者トリオ復活

中の 女給 さん達、



者は「家庭教師」の水戸光子所長賞を制定、第一回受賞松竹大船はワンカット演技 水戸光子へ ワンカット

役をやるとなるとうま るが之がいざ自 日本文化中央聯盟主催、紀 コンクールは廿五社、四十 七本百四卷の提出作品から 特選で十一社、十三本を選 し廿四名の審査委員が連記 し廿四名の審査委員が連記 日 島同聯盟會議室で聯盟側松 本學常務理事、伊賀良一理 面より蒐集せる資料を基礎作制限を斷行すべく、各方作制限を斷行すべく、各方

低級作に斧鉞!

減少により、外費の上映 が、質の向上を促さず、 却つて製作費の節減を來 すが如き事なきか 、非費の數量父は尺数の

、良質優秀なる文化映畫 の問題を解決し得るか 、要作制限と與行時間の 機解及び映畫館の經營狀 態に及ぼす影響如何 増加又はアトラクション の流行を來すが如き事な きか

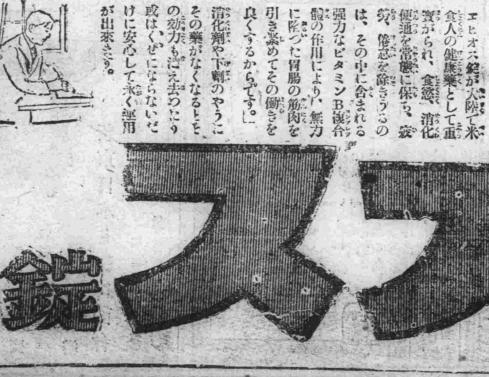
名のみの文化映盪業者に對 とも協力しては、文部省とも協力しては、文部省とも協力して相當の斧鉞を加へる事になる複様で、この問題が映なる。 をる複様で、この問題が映なる。 なる複様で、この問題が映る。 を表して注視されて 作品のみを競表するものや 製作者に對しても、低級な では、文化映畫の 江 電③六七〇〇 下

戶 前

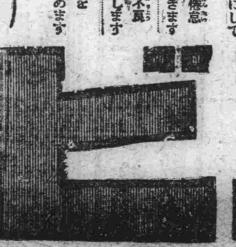
着手

電迪「銘茶の里」

けに安心して永く薬用 は、その中に含まれる の中に含まれる になった胃腸の筋肉を一般の作用により、無力 の効力もごえ去のにす が出來さいう。 消化劑や下劑のやうに 良くするからです。 引き案めてその働きを







哲學を讀む女給さんあり

かりり

演高

る老人役を樂にこなしてゐ

健康を齎す築養素です 即ち胃腸を丈夫にして のエピオス錠、それ

審で暫く延期 東理映畫「山田長政」の泰東理映畫「山田長政」の泰

長春座前

表

番組 一、金融の(新京)今日の ・一、金融御訪日奉脱鑑詞 ・一、金融御訪日奉脱鑑詞 ・一、金融御訪日奉脱鑑詞 ・一、金融御訪日奉脱鑑詞

成倉島周三撮影「銘茶の里」 は静岡縣川根村、牧野原の よ静岡縣川根村、牧野原の **電通映畫部の生活文化シリ**

何かの文中で、こんな意味 のことを言つてゐたやうに 記憶してゐる。「武巌野が 美しいといふのは、武巌野が ではな ではな い、武巌野が

置に於ては比肩するものなしとり滿鐵計員會館に滯在、講習の期講習をやつてゐる朴湖雲蛋伯期講習をやつてゐる朴湖雲蛋伯期講習をとってゐる朴湖雲蛋伯財調調質をとってゐる朴湖雲蛋伯財調調質を表現。

芳、尚小雲、程艶秋(程砚芳、尚小雲、程艶秋(程砚芳、尚小雲、程艶秋(程砚芳、尚小雲、程艶秋(程砚末りいゝものはいゝと言いたものが楽しいことの一次だちのが楽しいことの一次だちのが楽しいことの一

かきつかけにな

の道々の建物の黒のにはおのづから古のにはおのづから古のにここにはただ汚がかがへのにここにはただ汚のであらら

だらうかと評つてみたくなる、海に向つて夢のやうな白堊の建物、これから僕らの職場となつてくれる關東際の古ばけた裏門でバスを降りて暗い廊下を高澤氏に 光導されて進んだ。

八時、恙なく船は大連港に 大つた。港外までランチで 大つた。港外までランチで 大変の高澤氏に出迎へてい ただく。高澤氏に出迎へてい で母校の同じクルーに屬し でおる。甲板に迎へてご無 地られるので森山が知らせ たので、重ねてうつことも ないだらうと考へたのでと 着に叫んであると役所では心理して るたよ、と聞いて恐縮した のためだ人々が一齊に手を振 つて船を迎へてくれる。際 つて船を迎へてくれる。際 高に叫んである人も退る。 の進行が感よ停止して橋

形だけは見られるし、だんりが、とにかく支那芝居のでは勿論三流四流なのだらいが、とにかく支那芝居の



こないだも内地から何やらもらつた答禮に、こつちから何か送りたく思つたが、らつかりすると逆輸入になりかねない物ばかりなのできてした。茶莊といふ看板のある店へ行つてみて驚いた。日本と同様茶の種類は中々多いのである。茶として最上の物かどうかわからなかつだが、花の入つた茶 の理論をとやかく言ふ筋合はないかもしれぬ。しかしたないかもしれぬ。しかしま光曜にはパイオニアとしての熱情があるといふことだ。それは尊敬する。が、 近頃満洲文學の理論とい な満洲には先輩の文學者に 依つて論じられたものだか を がそ

一般に、新入りには満洲の 文學なんかわからないのだ で、と言つた様な空氣が感 じられるのをやゝ不思議に 思つた。満洲はもつと廣い のかと思つてゐたのだが。 一一満洲文學理論といふも のは、作品や作家の制作過 程を抽象して組織してゐる 程を抽象して組織してゐる

気は毛頭ないのである。 気は毛頭ないのである。

古

りながらそのスケールに於 は比ぶべくもないことをは かりながらも煤にまみれた やうな機なさには意外で あつた。そして荷物を預け に行つた驛の小ささはどう であらう、これが拓けゆく があらう、これが拓けゆく

形だけは見られるし、だん見つけると面白くなってくる。言葉が解らないのでは程力を見てゐるらちにどうやら 筋だ けは通 つて來らやら 筋だ けは通 つて來ら見かけないのは幾念だ。あそこではめつたに日本人なった。 まいだが コーモアがあるというのはあいないのは残念だ。

明してくれた文句には一寸明してくれた文句には一寸でも表示であるだけでも美しく、中でも茉莉 花は香 がよかつた。雲南磚茶で、四角な瓦のやりな形の上に編の字がか一般でも木が、實に親切でもあり要領もよく買つてゐて大いに満足だ。その茶莊の番頭してくれた文句には一寸

よく手入のとどいたアカシ いの道を人間どもが歩くの この道を人間どもが歩くの この道を人間どもが歩くの

のところ何一つまと お稿されるやらにと が感想文なり作詩歌 お稿されるやらにと

気持が日本人の をらないのではなれでは日本人をは はゐなくなる。 はるなくなる。 はるなくなる。 はるなくなる。 はるなくなる。

得ない。いづれ諸先輩の御得ない。いづれ諸先輩の御る。——といふ意味は、何かもつと新鮮で胸打たれるそして激烈な文學行動が。この新しい國には愉しくもあるのではないかといふ、凡そ 澤な期待を持ちすぎてゐたのが間違ひたつたといふことだ。とまれ、私も

げ出した午睡の逞しさには すつかり面喰つてしまふ。 やがてバスの左窓に四月の 海がきらきら光り出す、人 里遠い渚は清々しく、海は トンネルをくぐると忽ち観い トンネルをくぐると忽ち観い をさめて表忠塔が屹然と高 でさめて表忠塔が屹然と高

下から徐々に曠茫たる大平原全體の把握に向つて、自分の感情を推し腹めてゆくよりほかはないのである。身につかないものを、頭の中でこねりあげても、努力はむだばかりである。身につかないものを、頭のかりである。身につかないものを、直の大地にとしてしかりである。身につくといふことは、生活の歴史が一ないふことは、生活の歴史が一ないかる社が大切である。歌にたいかる社が大切である。歌にたいかなる社が大切である。歌にたいかる社が大切である。 の把握に向つて、自 を要らぬ細かさが展開 とのの原つばにも、 を要らぬ細かさが展開 のる。今は、自分の足 の様々に賑茫たる大平

詩人として實に美しいものである。旅で、良心的な詩人にしてはで、良心的な詩人にしてはである。旅行者の眼にも、ときには一片の光さはあるが、いくら詩人や歌人だと言つても、すどはりの眼に映つるものには深さや温かさがその土には深さや温かさがその土には深さや温かさがその土にじみ出ないのである。 めあげることができません、せつかく招聘して下され、せつかく招聘して下され、せりに作りあげた作品が、むりに役妻しますことは、私にはできませんから、どうか悪しからずお許しを願ひますといふ意味のことを述べたさうである。 白秋のこの態度は、さす 灸院 を巧技な細蔵のそ、てしとンマシニクテの一種

くらでもある、それでも武 といふのは私が武蔵野で生 活してゐるからである。武 蔵野には歴史がある。この 歴史を武蔵野から取り去つ でしまへば、武蔵野の美が ない。自然の美しさは、自 然と人とがとけあつてはじ めて存在するものである」

てく上後ぬ

かなる手段でもなく、目的そのものであるか故に、こ さなくないのである。金銭や物質の すべては、たいこ

人間が、このあまりに分り切つた眞理の前に、しかも 人間の愚劣な醜體 を暴露してゐることは、全く情ない

「命か金か」と言ふ言葉がある。金を卑しむべきものとする見方は決して當ちぬ今の世の中でこの金の多寡が凡ことは決定する、または、定する、または、

人間生活に於ける 幸福の手段や方生 としてのみそれか としてある。誰れ ことである。誰れ ことである。誰れ

知らればらぬ。 知らればらぬ。

精の油肝い易み服。

却つて丈夫にする を割しない作りか

肝がなった

油と建って

NE 78

2、脈な句ひや臭い ゲップが出ない

誰でも服み易い





JWF-10

氣象語る土佐

辛い物、その加

外、酒、タパコとか、甘い物

脂ら物などが好きで、絶え

が悪くどうしても治らない人

各地の樂店及びデバート泰品部にあります。 重症は三ヶ月分(三円七十銭)が好適です。

友田合資金

目鉄要四銀

与映畫數千種

③三一五二

燈

に敷回

しかない人。

などが も六回

も下痢をして健康便は一ヶ月

慢性

自動送平削鈴機械

-

べられい

ない人。

正體は何

五ミリ、三日〇・一ミリ、四日六・一ミリ、四日六・一ミリ、十日八・五ミリ、十日八・一ミリ、六日八・一ミリ、七日四四・一ミリ、七日四四・一ミリ、七日四四・一ミリ、七日四四・一ミリ、七日四四・一ミリ、七日四四・一ミリ、七日四四・一ミリ、七日四四・一ミー・大田では満洲大陸の夏と雷があるのだらうか、この因果関係につき中央観象監測科長土佐林技

連日の

1 八月上旬 1 九月上旬 (時日追つて張美)

2 勝切 お京日日新聞社事業部(電③三三〇〇)

2 勝切 七月二十五日勝守

東亞大會出場者は除く

異へることになってもの 本には出來高に應じて工賃を から教授し、製作したもの では出來高に應じて工賃を から教授し、製作したもの では出來高に應じて工賃を から教授し、製作したもの を対する事に必要的 では出來高に應じて工賃を を投資を設定があった、 を整へることになった。 の事門家を招聘 を関係して準備 を対したもの もの事門家を招聘 もの事門家を招聘 もの事門家を招聘 もの事門家を招聘 もの事門家を招聘

る。しかもこの住き年に因み市民的行事として斯道スポーツの鼓吹を企圖することは體育運動の上る、しかもこの住き年に因み市民的行事として斯道スポーツの鼓吹を企圖することは體育運動の上球大會開催することになつた、足球競技は古來より支那運動文化史の一頁を飾る民族 的 國 技であ犯元二千六百年を慶祝能念として本社では體聯新京事務局後援の下に左記要項により第一回市民足犯元二千六百年を慶祝能念として本社では體聯新京事務局後援の下に左記要項により第一回市民足

回市民足球士

權公 威の

田村剛博士語る

・ 選ばなければならない、
・ 選ばなければならない、
・ では問題ではない、
・ では問題ではない、
・ では問題ではない、
・ 本機・
・ ・
・ 本機・
・ ・
・ 本機・

公園がその代表的なもの としてあげられるが、鏡 としてあげられるが、鏡 説と共に種々様々なる風 景を豐富に有してゐるこ とは國立公園として最適 地と云へやう 地と云へやう

自轉車競技

(上)

に使して

白

三

東亞民族の祭典、東亞競 東西民族の祭典、東亞競 を奉説する東亜五億の民族 を奉説する東亜五億の民族 を奉説する東亜五億の民族 が場を中心に、去る六月五 日正午後四時劉晓たるトラ ンペットの音により、曠古 の盛典の幕を開いた。

この日長くも秩父總裁宮 と今詞を賜はり、一同今詞 を表の内の一つとして撃行 されたのである、自轉車は 中、比の参加なく、日滿兩 図の對抗により、東京は大 宮麓輪場で、關西は甲子園 されて居たにも拘らず、期待 戦前自轉車は相當の激戦

生活様式が異るとか、又は 生活様式が異るとか、又は 主活様式が異るとか、文は 主活様式が異るとか、全選手の實力の をあった。 をい満洲軍に對し、確かに 一日の長があつたことは否 を出來ない。 を出來ない。 を出來ない。 を出來ない。 を出來ない。 を出來ない。 を出來ない。 を出來ない。 を記述して居る日本軍は二、 を出來ない。 を記述して居た自分。 を記述した作業。 のの の前進は六月 を記述した。 のの の前進を見る を記述した。 のの の前進表 期待への重査から來る霧の と心掛けたのだが、大きな と心掛けたのだが、大きな

更に関立公園施設の計畫、何に秀れてゐるかを説明、何に秀れてゐるかを説明、好趣動物等が自然 保護 の

如の

軍人後接會新京支部では首 軍人の家族で十三歳以上の 軍人の家族で十三歳以上の 軍人の家族で十三歳以上の

国つて論じた 型、經營の問題につき深 申込み殺到

在滿教育の

切れないといふ嬉しい悲鳴に達し豫定の部屋に收容し



をかけられてゐる をかけられてゐる をかけられてゐる

な症狀の方に 好選てす

に胃痛を伸ぶ人。 とは食後が空腹時内熱感がある人、又は食後が空腹時内熱感がある人、又は食後が空腹時内熱感がある人、又は食後が空腹時内熱感がある人、又は食後が空腹時間に 機張と殆んど同様で、胃が張つたり

9

食慾がなく、時に食慾があつても食 えず下痢使、しぶり腹、雷鳴 ぶくとか、また一日に五回



田月にがが、関いのこの作用は おがひ、胃腸内部を清掃強化して胃腸の自 を吸水するのが特長ですから、永年 の慢性胃腸病も之によつて病源的に配復を を吸水するやうになるのです。 とし、その発養が を吸水するやうになるのです。 という。 を吸水するやうになるのです。 という。 を変数がある。 という。 を変数がある。 を変数が、 を

此の新しい特長が認識を高めたからです。 最近トモサンが慢性胃腸病者にさかんに







胃 腸 东 0 原 困

ない、好成時が、好成時

胃とか腸の粘膜にキズ (炎症、糜爛) たえず慢性的に胃腸が悪く、いろい

の有毒素、腐敗酸酵物が酸生してゐるができてゐるばかりか、胃腸内に種々 先づこれを治療することが先決問題である。

からです。

と言はれてきました。

新京東二條通り三六 錦屋旗梁工場 (京染部) 電話3 四二五六章

・急實現は

應急策考慮中(關係機關)

の點がある、斷乎交通政策見て交通機關の現狀は遺憾見て交通機關の現狀は遺憾

| 補足説明があった後、取締の總元締田村首警副總監部

場においても問題になつ交通難問題は昨年の本議

第三十二號議案 國都交外二十九分會提出)

皇帝 陛下を奉迎 首聯第一日の上程議案四件 百聯第一日の上程議案四件 百職第一日の上程議案四件 上げることになり金子談 し上げることになり金子談 し上げることになり金子談 し上げることになり金子談 同の遺路に整列陛下の御列 の遺路に整列陛下の御列

世事長更迭 国法人滿洲結核豫防協會 国法人滿洲結核豫防協會 国典亜院監維氏は今般日 民生部接監任し、後任と を以て就任した をとりて就任した をとりて記任した をとりて記任した をとり言氏

都市對抗滿洲代表決定戰新 京電々對撫順滿俱決勝戰は 十日午後一時三分から見玉 公園球場に於て針原(球)

子族争奪戦の檜舞臺に登場

症治主

A 0 5 2

電々を退く

泉澤主事よりそれが ・ 本に組合の現狀、これが將 ・ 本の計畫、さらに今多の交 ・ 本の計畫、さらに今多の交 ・ で具體的且つ詳細 に説明、これに對し新井線 ・ これに對し新井線

れたい ともに目前の問題に對す ー

乗用馬車人力車営業組合和 株式會社櫻井事務並に首都 株式會社櫻井事務並に首都

古賀保雄氏(鍍金分會) 一、地下鐵が將來の物助計 畫に對し如何に盛られて 現有交通能力を以てす れば不足車を増加するこ と明快な意見を述べ、直面 する意志はないか きてはないか を明快な意見を述べ、直面 する意志はないか を明快な意見を述べ、直面 もの散明をまつ護場は巨剣で ある、兩氏は論鋒鉞く當局

議が行はれ午後六時半多大の成果を收めて本會議を終了彼いて午後八時より懇談會に移り重要問題二十護案について親しく慇談審議が行はれ午後六時半多大の成果を收めて本會議を終了彼いて午後八時より懇談會に移り重要問題・高三も長時間の眞摯な檢討審認議案土地買收に關する件の三案、各案とも文字通り白熱的論職を展開特に交通雑問題には二時間中に亘る長時間の眞摯な檢討審議議案土地買收に關する件の三案、各案とも文字通り白熱的論職を展開特に交通雑問題には二時間中に亘る長時間の眞摯な檢討審議議案上は「日本の主義の主義を興へたが上程議案 ふの上程歳案

金子競長

半に三る長時間審議

難問

題

統制の運用に関する件(中銀分會提出)▼第

多少の無理 關屋副市長

9

長市副屋關

商

3

△歷地△ 新詳書人誠 夕

水迎△黒十五才以上を記り出事へ

関尾副市長起つて地下鐵問題の實現について其困難性 につき具體的に説明した後 各機關の説明が具體的でな く抽象的であるといふ不満 に答へて代表の質問並に要 に答へて代表の質問並に要

備强化問題衝

らな扱ひ方は独立方は独立

金子議長 人的資源不足の

雨氏は提案理由の補足的説 問されてもそれは形式的 である 商人の犯罪事實を述

道で同社新京移轉挨拶に來満航幹部挨拶、滿航幹部挨投機務部長中富貴之の東西が投機務部長中富貴之の東京管區長の東沿地域、同常務取締役武宮豐治

と述べ、これに對し譚文斌 氏"(貌子洞分會代表) の意 科委員會に提出慎重審議す

備前 前 巨 山前 長 船

所長 生命 **産佐命** 仕事本位 0 武務 店

り二十一日迄庭園食堂は休業致し今般防衛訓練の爲め來る十一日よ ムは午後十 **△上**履內 ル しよ 춫 T山美 奏 Ш 祝町 せ哀 食道樂 婦人服店隨上 τ 悼 = 頂 電青 * 1 H,

買收問題 分科會に附託

とうよめ始でい寛つーでいぬを着上 章動い者 まるあもで譯るあが前手の章動の胸長議子金たつ云 とメチキにのるめてつなに枚一ツャジが表代各がい 毒の氣はのるてし

を市民に奥へる必要がある。 と詰め寄り、これに對し間で、 を市民に奥へる必要がある。 と詰め寄り、これに對し間へ對策がないで時の計畫を終つてある。 「門的計畫を終つてある。」 が解決すると聞きとられ

度間被出の氣配は識場に充 質問被出の氣配は識場に充 ちてゐたが、議長は本問題 をさらに審議するため分科 委員會に附託を薫場に語り た本案は拍手裡に分科委員 た本案は拍手裡に分科委員

に信頼波瀾なく本案 に信頼波瀾なく本案 に信頼波瀾なく本案

しては各方面に交渉して ある、さらに協和會より のでかけてもらひたい 呼びかけてもらひたい 呼びかけてもらひたい がは一、勤務箇所と住宅との続 法的に命ずるなにものも ない協和精神の殺露を望 ない協和精神の殺露を望 ない協和特神の殺露を望

を市民に奥へる必要がまないかといふ一つの恵

あ夢でか

段けへ書四本公告の籍の三

徳七年七月九日 徳七年七月九日 徳七年七月九日 徳七年七月九日 徳七年七月九日 徳七年七月九日 徳七年七月十五日より本 本語の総入業者に指定せられ同日以降 本語の総入業者に指定せられ同日以降 本語の総入業者に指定せられ同日以降 本語の総入業者に指定せられ同日以降

若

名

べき康徽七年度第二期新京特別市防衛訓練はいよいよけふ今十一日から三日間全市民を總動員して擧作を演練し防衛下令下の諸訓練を行ふとともに警護諸施設の飛躍的促進充實を策し防衛戦力を强化す來るべき吉林防衛地區防衛訓練に備へて國都市民をして防衛下令の初類における戦時態勢への轉移動 ら總動員 ※班でもすでにある が監部は勿論全市の 会市で である。 村田で題間物薬のてした足の民市 ? 焰氣 "快" の車轉自と車洋い早もりよ車馬りよ車洋一辯客の監總副 つなにとこるれ入仕量大く近をのもふいと車快の子の合 く吐を焔氣といたれさ心安らかるあて が 地震があ 大主に入 本年に入 が を が あ が あ た きのふ午後二時五十一 震源地は浦鹽 大連場所六日! 大連場所六日! のつた。 地 を生ずする 照安名綾大出肥龍藤佐楯金佐相 藝奇 初州王/ 渡 國海岩昇潮爽山山里島甲湊花川 、四十五歳からで、イヤ四十歳を越えてあるらたに五十歳を越えてあるらたに五十歳を越えてあるらたに五十歳を越えてある。 この統制論はそれない。 景後雨機様

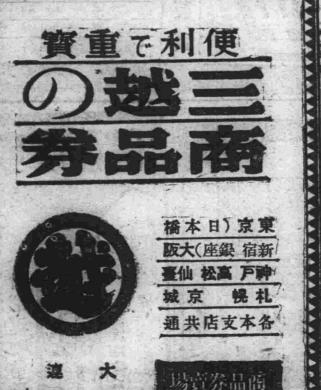
へよ

る

國都防

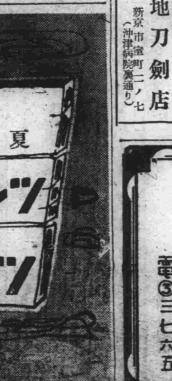


あらゆる防護訓練が市内各 理、爆撃に對する施設等 理、爆撃に對する施設等

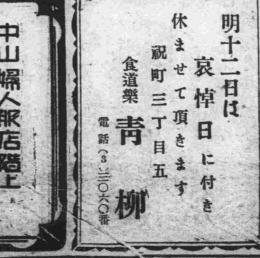












時迄營業致します

トホテ

『僕は一人で先きにはいつ であるけれど三十分位した ら見舞つてくれないか。我 値を言つて濟まないけど、 それから争議が思ふやうに それから争議が思ふやうに

南嶺陽南入和曾和 6 耳動

新京富士町ニノー四

タイプ印書 新満 満 社

建築用材料

が前京きたで前

優良新鮮

通 電3三七〇一番

牛乳一合八錢

古本買入一冊の本も貴重な資源

協和收場

九公司

新京中央通 (新京神社前)

授業年前・午後、夜間

大 學 健 時 新京新殿路10五號 新京新殿路10五號 新京新殿路10五號 新京新殿路10五號 新京新殿路10五號 新京新殿路10五號 新京新殿路10五號

ばん

神經衰弱。

小兒諸叔

話電見 四/一十日丁三町樂本 前校學小島八 番七三一三・8 電

た行つた者がある かある な関の所で、

廣告の御用は

電話③三三〇〇

ドシ (本来) を求めたき者共に本會へ 「電空」一〇八五 自 (記を) を求めたき者共に本會へ 第京東三馬路 自 (記を) 音

お米さ

0

ます 数します 新京 佐 久 川 電話2一八四二番

新京市中央通十三

新京興信公所

南廣場 電小三七五五

サック風化し易く用を出町二ノ一五

御用は御門は

整門專門

南廣場電河三七五

中央通り

宋松接骨院 1110世

お灸

電3三七三六番

特效薬 安心 散特效薬 安心 散特效あり御試薬を乞ふ浪速 町二丁目十八番地町二丁目十八番地

金

ఱ

あんま特設

女房とは一體、誰のこと

君に言ふ必要はないでせ

『だから誰を奥さんに貰つ ても決してあたしはお化け になどなつて恨みに行かな 、い事よ』 、様しく微笑み乍らそんな 、でして、

『僕ですか。僕は女房の容

0

列車発着表

(**百一**) 三文都市(十一) 三文都市(十一) 三文都市(十一) 三文都市(十一) 三文都市(十一) 解らない奴なんだから』

頭に連中にぶつかつてしまだが岩田がそこから出て

貴様か。争議團の奴つて 『それからね、あたし話しておきたい事があるの。それはね、あたしも言はなかったけれど、お互は知つてゐるわね。あたし が貴方以外に生涯伴侶を持たないと言ふ事を、あれは 今此處で取消すわ。無理に 諦めるのではなく本當に諦められるの。それだけ言ふ と答へたが目をそらした。/ 『違ふよ。薬の話さ』

古物 丸八商店

カメラ修理が別が、一般造販賣を表現の一般の一般を表現の一般造販賣 西五馬路大經路入口岩田屋 では、電流品専問

事業調査信用調査

淋病に熱 あんま

お茶り茶園と

電行 電社

融金及話電價 密秘期長·詩即融金買 るあ用信も最は談相側の話電入

ほねつ 今辨慶<u>整</u>号院 **滿鉄病院東正門前**

タイプ印書 事務代行 過面トレス が騰寫板

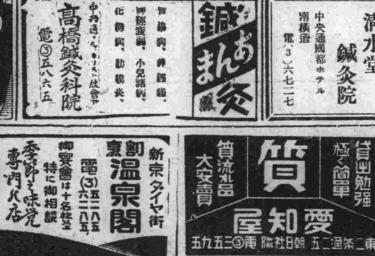
印刷及帳簿 三友社 電話3 三四二個

看板

堂裝



石炭ガラ 運搬付販賣 シルに不拘御用命の程 後、りのに依る を、早速側面け致しま







暖無







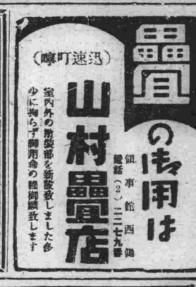








に大人服より改造婦人子供服新調並 報次第早速參上 山 電話(2)七六四



般製罐工事並諸機械

(2) 三八五

工具並 煉氣 氣配 一般 建 工作 瓦及粘土線用碍子 畈 賣 材料

函

